



書き初め席書大会



1月10日、える夢館で『書き初め席書大会』が行われ、冬休み中の小学生を中心に19人が新年の思いを筆に込めました。各々はるにねホールの好きな場所に新聞紙を敷き、画仙紙に向かいました。最初は慎重に筆を運んでいましたが、2枚、3枚と枚数を重ねるにしがたって、段々と元気のある力強い作品になっていきました。審査の結果、教育長賞に豊頃小学校1年の納日和さん、審査員長賞に一般の林俊雄さんが選ばれました。参加者の作品は次のとおりです。

おふくろの味、全国へ発送！



12月23日から24日にかけて、大津漁協女性部（前川京子部長）の秋サケのいずし「鮭飯寿司」の樽出し作業が同漁協横の加工場で行われ、一つひとつ丁寧に手作業でパック詰めされた製品が全国に向けて発送されました。このいずしは、塩漬けされた秋サケを水につけて塩出しし、ダイコンやニンジンなどとともに漬け込んだもので、すべて女性部員による手づくりで「おふくろの味」として親しまれ、大変好評を得ています。前川部長は「今年は65樽を漬け込みました。発酵具合もちょうど良く、とても良いです」と話していました。

とよころ荘でもちつき会



12月28日、特別養護老人ホームとよころ荘で年末恒例行事もちつき会が開催されました。会場の食堂に入居者が集まり、うすを囲み、施設の職員が威勢よくもちをつく姿を嬉しそうに見ていました。その後、入居者の方も、もちつきに挑戦。中には昔を思い出して目を潤ませてしまう場面もありました。また、別の入居者は、つきあがったもちを食べやすい大きさにカットしたり、丸めたり、あんこをつめたりする作業をお手伝いしました。お昼には、できあがったやわらかくておいしいおもちを食べることができました。

広報とよころ

議会だより

はるにねは見ていた

議会だより

役場だより

無事故無火災を願って



1月5日、今年一年の無事故無火災を願って、豊頃消防団（前田勇治団長）がえる夢館で出初式を行いました。出初式に先立ち、茂岩市街では第一分団が登梯を行い、豊頃市街では第二分団によるまとい振りや保育所児童によるミニまとい振りが行われ、地域住民を楽しませていました。その後、団員らは茂岩市街を分列行進し、地域住民に防火を呼びかけました。える夢館で行われた出初式では、団員表彰が行われ、元副団長の佐竹忠信さんをはじめ4人に東十勝消防事務組合長から感謝状が贈られたほか、北海道知事表彰、東十勝消防事務組合長表彰、豊頃町長表彰などの表彰が行われました。

永年勤続団員等表彰

東十勝消防事務組合長感謝状		豊頃町長表彰	
元 副 団 長	佐竹 忠信	社会功労賞 (20年勤続)	安藤 誠
元 本 部 長	内山 寛		岡光 隆司
元 班 長	山内 将義	北海道消防協会会長表彰	
元 部 長	佐藤 九	特別功績章	前田 勇治
東十勝消防事務組合長表彰		功績章	岡戸 孝嗣
準無火災分団表彰	第三分団	勤続表彰 (30年勤続)	小笠原 茂人
北海道知事表彰		勤続表彰 (20年勤続)	安藤 誠
勤続表彰 (30年勤続)	小笠原 茂人		岡光 隆司
勤続表彰 (20年勤続)	神谷 信一	勤続表彰 (10年勤続)	竹田 真久
	岡光 隆司		天内 康浩
勤続表彰 (10年勤続)	山口 仁	北海道消防協会十勝地方支部長表彰	
東十勝消防事務組合長表彰		勤続表彰 (15年勤続)	川村 和也
精勤表彰 (300回)	山口 浩司	勤続表彰 (5年勤続)	渡部 大地
	小笠原 茂人		高橋 裕佳
	天内 薫		東 実
	工藤 幹良		相澤 和幸
	中村 哲也	豊頃消防団長表彰	
勤続表彰 (30年勤続)	小笠原 茂人	勤続表彰 (5年勤続)	渡部 大地
勤続表彰 (20年勤続)	安藤 誠		高橋 裕佳
	岡光 隆司		東 実
勤続表彰 (10年勤続)	竹田 真久		相澤 和幸
	天内 康浩		

親子でたこづくり、たこ揚げに挑戦



1月15日、える夢館と十勝川河川敷堤防で町青少年育成連絡協議会（小笠原茂人会長）主催の「親子たこ作り・たこ揚げ会」が開催されました。「停滞している子ども会活動の一助になれば」と、子供向けのイベントとして今回初めて企画され、小学生19人と保護者ら計35人が参加しました。える夢館でダイヤたこなどを作り、思い思いの絵を書いた後、茂岩市街の堤防の上でたこ揚げに挑戦しました。当時は風にも恵まれ、絶好のたこ揚げ日和となりました。たこ揚げが初めての子供も多く、悪戦苦闘しながらも父親らの助けを受けてたこ揚げを楽しんでいました。同協議では「来年以降も子供のイベントを実施したい」としています。

救難所所員に北海道知事から感謝状



平成23年度海難救助功労者顕彰で大津水難救難所の所員に北海道知事感謝状が贈られ、12月21日、大津漁業協働組合で伝達式が行われました。感謝状を贈られたのは、同救難所の所長で大津漁業協働組合の代表理事組合長も務める茅野優さん（浦幌町十勝太、写真右）と岡戸孝嗣さん（大津寿町、同中央）、笹木敏雄さん（大津幸町、同左）の3名で、3名とも36年間の永きにわたり救難所に勤務され、海難防止の普及啓発と海難救助活動に精励されました。この日、十勝総合振興局から佐々木伸産業振興部長が同組合を訪れ、関係者が参列するなか知事感謝状を手渡しました。